

「荷主どうし」の連携により トラック運転者の 労働時間を短縮しましょう

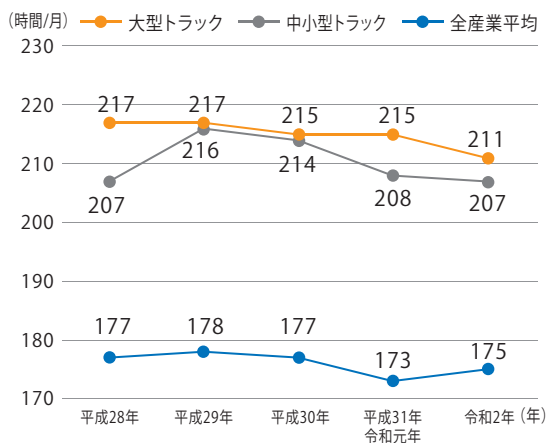


トラック運転者の
長時間労働が
問題になっています！

トラック運転者は、全産業と比較して、長時間労働の実態にあり、それが「引きがね」のひとつとなって、物流業界は深刻な人手不足に陥っています。

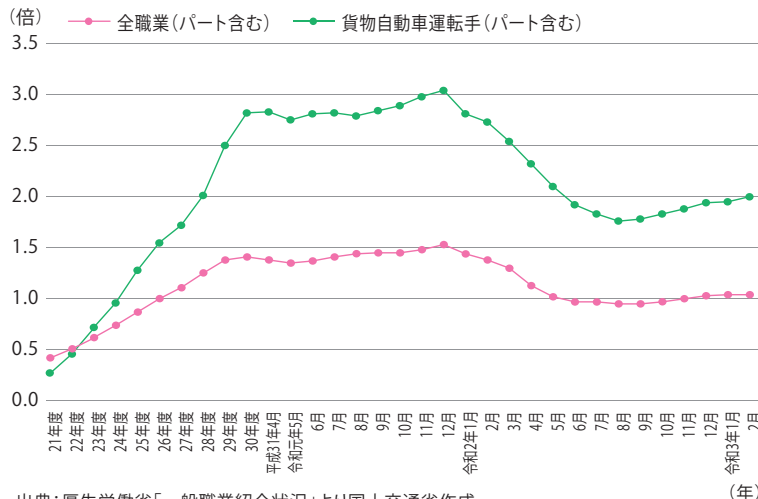
国民生活や事業活動に必要な物流を安定的に確保するためには、この事態を早急に改善しなければなりません。

月間の平均労働時間の推移



出典：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」より

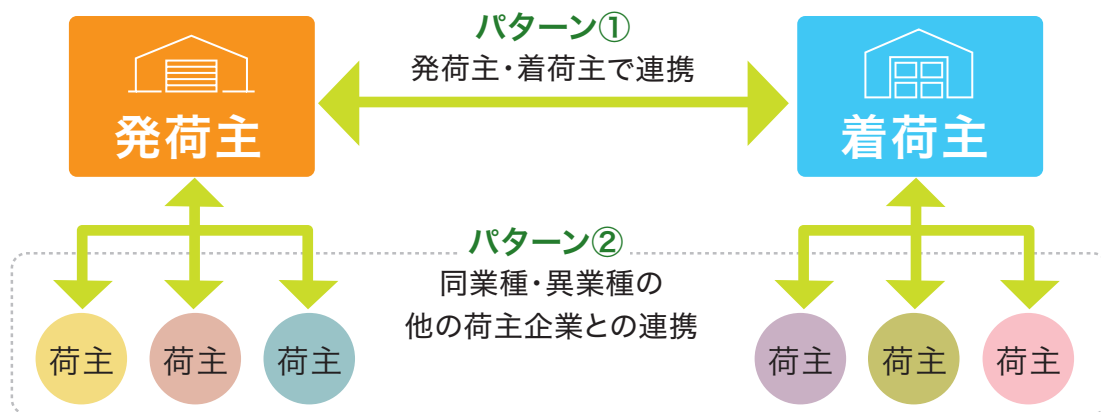
有効求人倍率の推移



出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」より国土交通省作成

なぜ「荷主どうし」の
連携が必要なので
しょうか？

「どの品物を、どれだけ、どの時刻に、どのように積込んで、どの時刻に、どのように納入するのか」を決めることができるのは、荷主です。ただし、発荷主からの依頼は、納入指定時刻など、着荷主からの様々な要望を踏まえて決められています。そのため、依頼内容を見直すためには、「発荷主と着荷主」の連携が必要です。また、トラック運転者の長時間労働を短縮するためには、「発荷主と着荷主」の連携に限らず、「同業種や異業種の他の荷主企業」と連携することも重要です。





トラック運転者の
長時間労働改善に
向けたポータルサイト

厚生労働省では、トラック運転者の長時間労働に向けた
荷主どうしの連携による取組などについてご紹介しています。



トラック運転者の長時間労働改善に向けたポータルサイト <https://driver-roudou-jikan.mhlw.go.jp/>

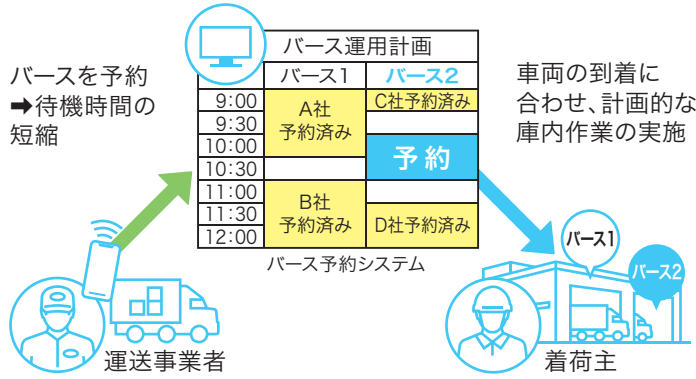
パターン1 「発荷主・着荷主」の 連携による取組(例)

荷主のみなさま向け動画の視聴は
ポータルサイトの「情報いろいろ宝箱
(荷主のみなさまへ)」のページから



待機時間の短縮事例(パース予約システムの導入)

発荷主と着荷主が連携し、パース予約システムを導入。



荷主のみなさま向け動画

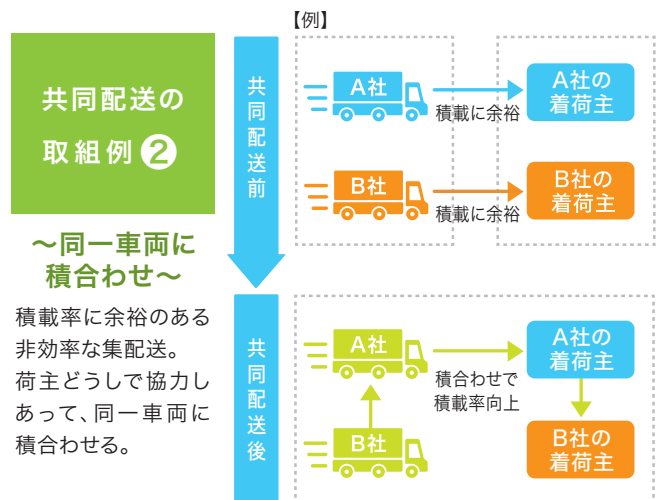
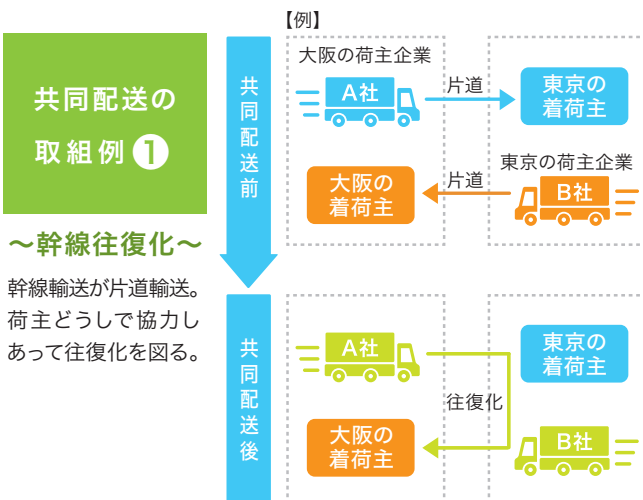


発荷主・着荷主・トラック運送事業者が『どのように具体的な取組を進めるのか』について、ドラマ仕立て(アニメーション)でご紹介しています。

パターン2 「荷主どうし」(同業種・ 他業種の荷主企業) の連携による取組(例)

日頃、出会うことのない、他の荷主(同業種・異業種)の方々と、物流生産性向上に向けた意見交換をする**あい積ミーティング**をオンラインで開催します。

お申込みはポータルサイトの「荷主連携マッチング～あい積ミーティング～」のページから



お問い合わせ窓口



厚生労働省委託事業者
株式会社 富士通総研

担当名: 沖原・亀廻井(かめのい)・田村
電話: 03-6424-6754
メール: fri-truck-seminar@dl.jp.fujitsu.com